

フラッセル日本人学校補習校 学校だより No.17



ベゴニア

～「わかった」「できた」「来てよかった」
の笑顔あふれる補習校～



マロニエ祭に向けて・・・

2023(令和5)年 9月16日

文責 校長 佐藤 博

先週は学年遠足へのご協力、ありがとうございました。1週間たってもまだ楽しかった思い出がたくさん残っているのか、何人かの子どもたちは、あの日の出来事をいろいろと話してくれました。きっとお家でもいろいろな会話があったと思います。こういうチャンスを生かし、ぜひ日本語での会話を増やしていただけたら嬉しいです。よろしくお願いします。

さて、10月1日(日)はお楽しみの「マロニエ祭」が実施されます。本年度のマロニエ祭は、コロナ禍前に完全に戻し、フードトラックも学校に来てくださることとなりました。楽しみがまた一つ増えましたね。また、日本人会の出店も予定されています。さらに昨年度までにはなかった「マロニエ芸術祭」も体育館で開催予定です。新しく生まれ変わったマロニエ祭になりそうで、今からワクワクしています。

補習校もたくさんの子どもたちや先生方がこのマロニエ祭に参加するようで、16日も放課後の短い時間を使って練習する姿が見られました。後日、マロニエ委員の皆様からも詳しいご案内があると思いますが、個人パフォーマンスは11時から玄関ホールで、団体パフォーマンスは14時30分から体育館で実施予定だそうです。また「マロニエ芸術祭」と古本市は体育館で計画されています。個人・団体のパフォーマンスやマロニエ芸術祭ともに、多くの補習校の子どもたちが出場・出品しますので、ぜひ見に来てください。

また、こちらはすでにマロニエ委員よりメールでお知らせがっていますが、現在ボランティアと当日の会場に入るための事前登録についてメールで案内がきていました。

ボランティアに関しては9月7日付のメールで、時間や内容等くわしく書かれています。確認してもしもお協力いただける方は下のフォームから登録をお願いします。現在、ボランティアの人数が足りず困っているとのことです。ぜひご協力をお願いします。

<https://forms.gle/cY5UxcoAXkbizRbM8> (←ボランティア募集フォーム)

もう一つ、マロニエ祭当日の事前登録についての案内が9月11日付のメールで配信されています。これはこのベゴニアを読んでいる補習校保護者に皆様や在校生は必要ないのですが、卒業生や元在校生は必要とのことです。もしもお知り合いの方等で、マロニエ祭に行きたいという方がいらっしゃったら、下のフォームから事前登録を済ませるようお知らせください。

<https://forms.gle/3Fq3EHFUpGf43GpN6> (←事前登録フォーム)

どちらとも詳しくはマロニエ委員からのメールに書いてありますのでご覧ください。



中学部3年の作文を紹介します

6月の中学部3年生の学年通信「有終の美」に素晴らしい作文が載せてあったのでここで紹介します。国語の単元である「作られた「物語」を超えて」という単元に取り組んだ際、授業中に自分の考えをまとめた時のものです。



私は、自分勝手な解釈を避けて、その向こうにある真実を知ろうとし、新しい世界と出会うとする事が大事だという筆者の主張がとても印象に残りました。 実際に私も、自分勝手な解釈をたくさんしていると思います。例えば、幼稚園の先生という仕事は、簡単に楽な仕事だとずっと思っていました。でも、本当はとても大変で責任が重い仕事だと分かりました。 このような誤解をせず、手遅れになる前に自分勝手な解釈を避けることが、あらためて大事だなと思えました。	私たちは、野生動物の行動を誤解することがよくある。かつてライオンやトラを凶暴な動物、キツネやタヌキをする賢い動物と見なしていた。それは人間が作った「物語」である。このような物語のせいで、十九世紀の探検家たちは、ゴリラは好戦的で凶暴な動物だと言ううわさを広めたので、ゴリラは悲惨な運命をたどることになったのだ。 僕は、人間がまだ見たことも聞いたこともない物にでくわすと、それをできるだけおそろしい物にしてしまう「せ」があると思う。でもそれは、悪いせではないのかと思う。すぐにきけんな物だと判断する前に、ちゃんとそれを研究してから言った方がいいのではないだろうか。	「作られた物語を超えて、その向こうにある真実を知ろうとすることが、新しい世界と出会うための鍵なのだ。」と筆者は書いています。 私は、人々が一つの意見を聞いて、それが真実だと決める前に、他の意見も聞いてほしいと思います。人間は、めんどくさがりだから、すぐに人の言っていることを確かめずに信じてしまうのを、残念に思います。インターネットがある今だからこそ、少しでも自分で調べてほしいなと思います。
--	--	--

国語の勉強で大切なこととは「自分なりの考えをもつ」ということ。物語でも説明文でも、そこから作者は何を伝えようとしたのだろうか・・・というメッセージをしっかり受け止め、自分なりの考えに落とし込むというのが非常に大切です。この5人の作文には、しっかり自分の考えが書かれています。また、この単元では「社会に対する問題意識をもち、視野を広げる」ことも目標にしています。こうやって友達と考えと交流することで、問題意識や考え方の視野も広がると期待しています。さすが最高学年、素晴らしい作文ばかりで感心しました。

筆者は、人間の誤解についての話を書いています。ゴリラに対する話ですが、違う文化や新しい人の話でもあります。私の印象に残った文は、その人々が暮らしている文化や社会をよく理解することが必要であろう。です。なぜなら、人々の文化や社会が分かれば、誤解がへらせると思うからです。自分で研究してから、人の話を信じていいか判断するべきだと思います。 私はよく日本の文化に対して誤解している人に出会います。例えば、日本人が毎晩すしを食べて、アニメを見てると信じている人です。ですから、そういう人にならないように、気をつけたいと思います。	筆者は、自分勝手な独りよがりな解釈を避け、常識を疑うこと、なにより自分を相手の立場に置き換えて考えてみる視点が重要である。と言っています。たしかに私は、独りよがりな解釈をしていました。例えば、パンダは草を好きで食べているとか、サメは人を食べるとか、ハイエナは他の動物のえものを横取りするとか。でもこの話を読んで、こういう誤解はもうしたくないと思いました。
--	--

補習校前の芝文庫、充実しています

補習校職員室前に置いてある芝文庫ですが、日本に帰国される方が持ってきてくれたりして、どんどん充実しています。さらに最近は、図書委員の皆さんが図書室のコミックを入れ替える際にまだ読めそうなものをすべて揃えて、この本棚に並べてくださいました。ここは貸し出し冊数も自由ですので、どうぞ興味のある方は持って帰って、ゆっくりご自宅で読んでみてください。マンガを読むことで漢字にも触れることができ、国語の勉強にもつながります。ぜひ積極的な活用をお願いします。

